

# 記念館新聞



福崎町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原  
1038の12  
電話：0790-22-1000

## 播磨国風土記編さん1300年記念

### 第34回山桃忌

今年も来月3日(土)・4日(日)に、第34回山桃忌を開催いたします。山桃忌は、柳田國男とその兄である井上通泰の祥月にあたる8月に、二人の偉業を称え、様々な催しを行うものです。今年、播磨国風土記編さん1300年を記念して行います。

概要は左表のとおりです。8月3日(土)の第1部(エルデホール)への参加には申込が必要です。詳しくは福崎町教育委員会 社会教育課(TEL 22-0560)までご連絡ください。

8月3日(土) **要予約** 先着200名  
第1部 播磨国風土記と松岡五兄弟  
会場：エルデホール 時間：13:15~17:00  
内容：山桃忌式典、紙芝居「播磨国風土記」、基調講演、記念講演、シンポジウム

**夜の催し** 場所：辻川界限  
【民俗学の夕べ】 18:30~21:30  
鈴の森神社で行われる猿まわし、鬼太鼓、餅まきなど  
【竹灯籠のあかり】 19:30~21:00  
辻川山公園周辺で竹灯籠にあかりが灯ります。  
【「山桃忌御前」のご提供】 18:00~20:30  
もちむぎのやかたで福崎町特産のもちむぎと地元で採れた米や野菜を使った一夜限りの「山桃忌御前」(税込・飲物代別1,890円、40食限定)をご用意しています。ご予約(TEL 23-1500)の上、19:30までにお越しください。

8月4日(日) **申込不要**  
第2部 現代に生きる神話の世界 神楽上演  
会場：エルデホール 時間：13:00~15:00  
石見神楽(八岐大蛇、恵比須、塵輪)上演

### 民間伝承の会と雑誌『民間伝承』

柳田國男は明治8(1875)年7月31日に、神東郡田原村辻川(現・兵庫県神崎郡福崎町西田原)で誕生します。

そして、誕生から60年後の昭和10(1935)年7月31日から8月6日までの7日間に國男は、東京市四谷区霞ヶ丘(現・東京都新宿区霞ヶ丘町)の日本青年館で「日本民俗学講習会」を開催しました。

國男の数え61歳になる誕生日に講演会が開かれたのは、國男自身が還暦の祝賀を祝われることを固辞したからでした。なぜなら、國男は還暦に隠居する年齢と捉えられ、國男は自分若く、さらに学問の道を邁進(まいしん)していきたくて考えていました。そ



### ☆☆入館案内☆☆

☆開館時間  
9時~16時30分  
(入館は16時まで)  
☆休館日  
月曜、祝日の翌日  
12月28日~1月4日  
☆入館料  
無料

のため、還暦に民俗学を学ぶ人々が一堂に集まる機会を設けたのです。そして、講習会開催中の8月3日に、國男は参加者のうち60人ほどを自宅に招きます。

このときに全国的な連絡機関の設立と雑誌の刊行が提案されました。そして、翌日の講習会で正式に承認されたのです。

こうして誕生したのが、連絡機関である「民間伝承の会」と雑誌『民間伝承』です。

民間伝承の会は、昭和24(1949)年3月1日に「日本民俗学会」と改称されるまで続きます。

そして、雑誌『民間伝承』は、昭和10年9月18日に、民間伝承の会の会報として創刊されます。

終戦前後は合併号や休刊の時期もありましたが、昭和21(1946)年

### 展示予告



『民間伝承』第3巻第2号

8月5日に復刊します。そして、現在では雑誌『日本民俗学』に引き継がれています。すなわち、國男の還暦を機に誕生した会と雑誌は、今に繋がっているのです。

当館1階で常設展示をしている「花嫁行列」の作者である人形作家・荒木富佐子氏の和紙人形展を、7月28日(日)から開催する予定にしております。

詳細が決まりましたら、お伝えさせていただきますので、よろしくお願いたします。

### 館日記

5月29日(水)と30日(木)に、平成25年度福崎町ふるさと学習会が行われ、当館顧問の石井正己先生が「神話と風土記」という講演を行いました。

福崎東中学校(29日)と福崎西中学校(30日)が会場となり、福崎町内の小学校の5・6年生と中学1・3年生が熱心に話を聞いていました。

今年、播磨国風土記編さん1300年の年です。

石井先生のお話によって、この節目の年に神話と風土記をより身近に感じていただける機会となったのではないかと思います。

皆さん、本当にありがとうございます。



福崎西中学校での講演の様子